

Gunma Takeout O-en

# GTOプロジェクト

～安心の非感染テイクアウト店を応援しよう～

## 今、苦境にある飲食店のために！

- ・安全・安心に配慮した  
テイクアウト・デリバリー等を応援
- ・県職員が率先して  
テイクアウト等を利用するキャンペーン



**安全・安心に配慮したテイクアウト店とは？**  
クリーンッキングング(安全な調理)、ノータッチ(接触をしない)、  
ノーインタラクション(相互やりとりをしない)などの工夫がされた飲食店

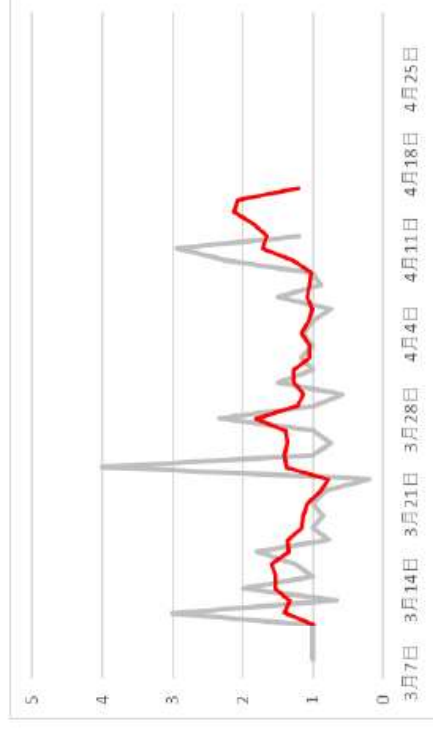
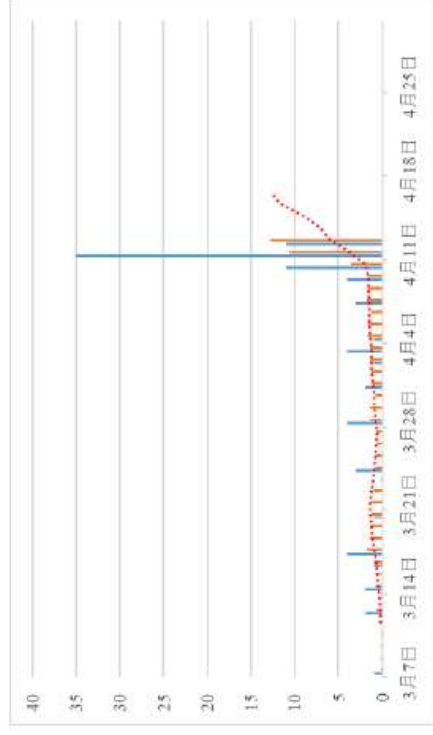
# 高精度体温検知システム導入による入庁者チェック

新型コロナウイルス感染のリスクから入庁者及び職員を守るため、  
県庁舎東側正面玄関に「高精度体温検知システム」を設置した  
(4月13日から試験運用)



## Ⅱ 流行のリアルタイム評価

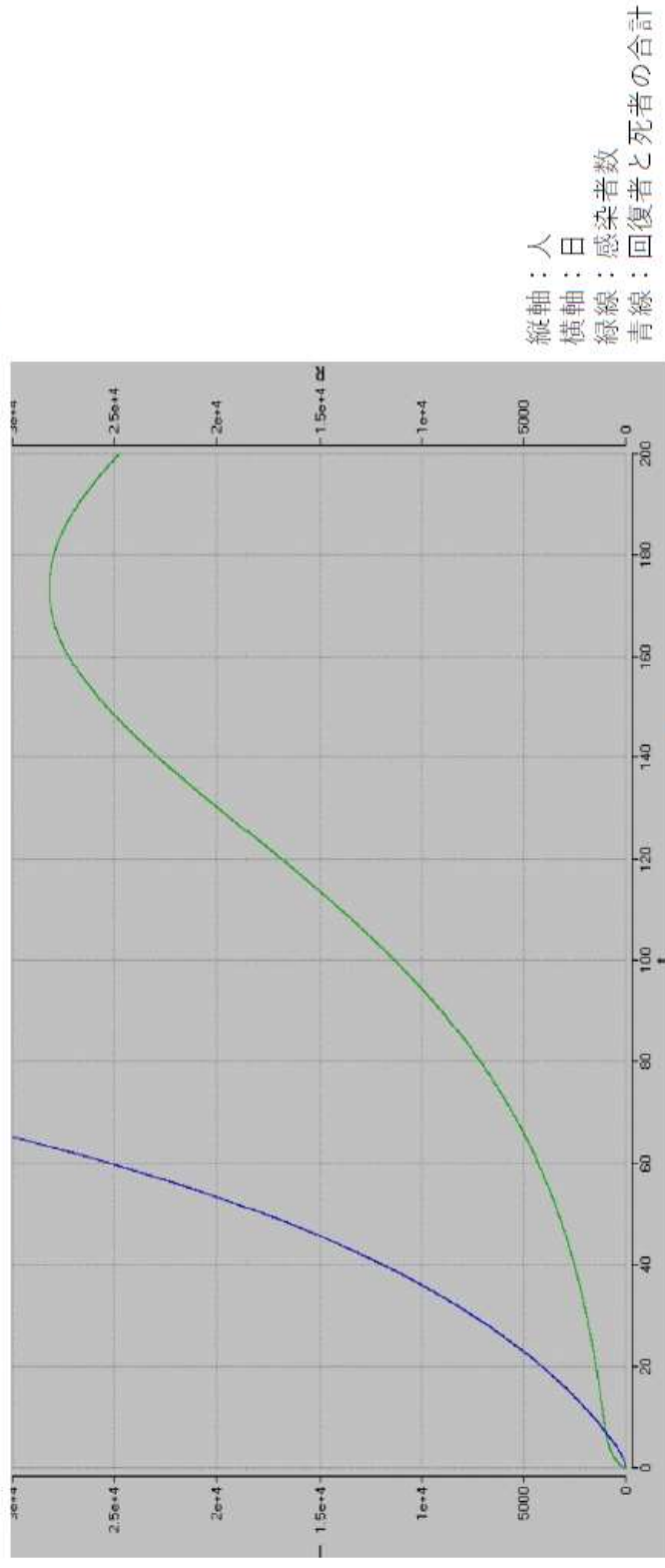
- ・伊勢崎市のクラスターの発生により発症者数が一時的に増加した。またこれに伴い実効再生産数が瞬間的に3となった。
- ・しかしクラスター対策により感染の連鎖は起きていない。また市中感染の疑い例は多くなく，現在のところ東京同様の流行を認めるとはいえない。実行再生産数の平均値は約1.3である。
- ・ただし，今後感染源が特定できないPCR陽性者の割合が増加した場合は流行が拡大する可能性もある。



公開情報（青）に基づき作成した流行曲線（赤）

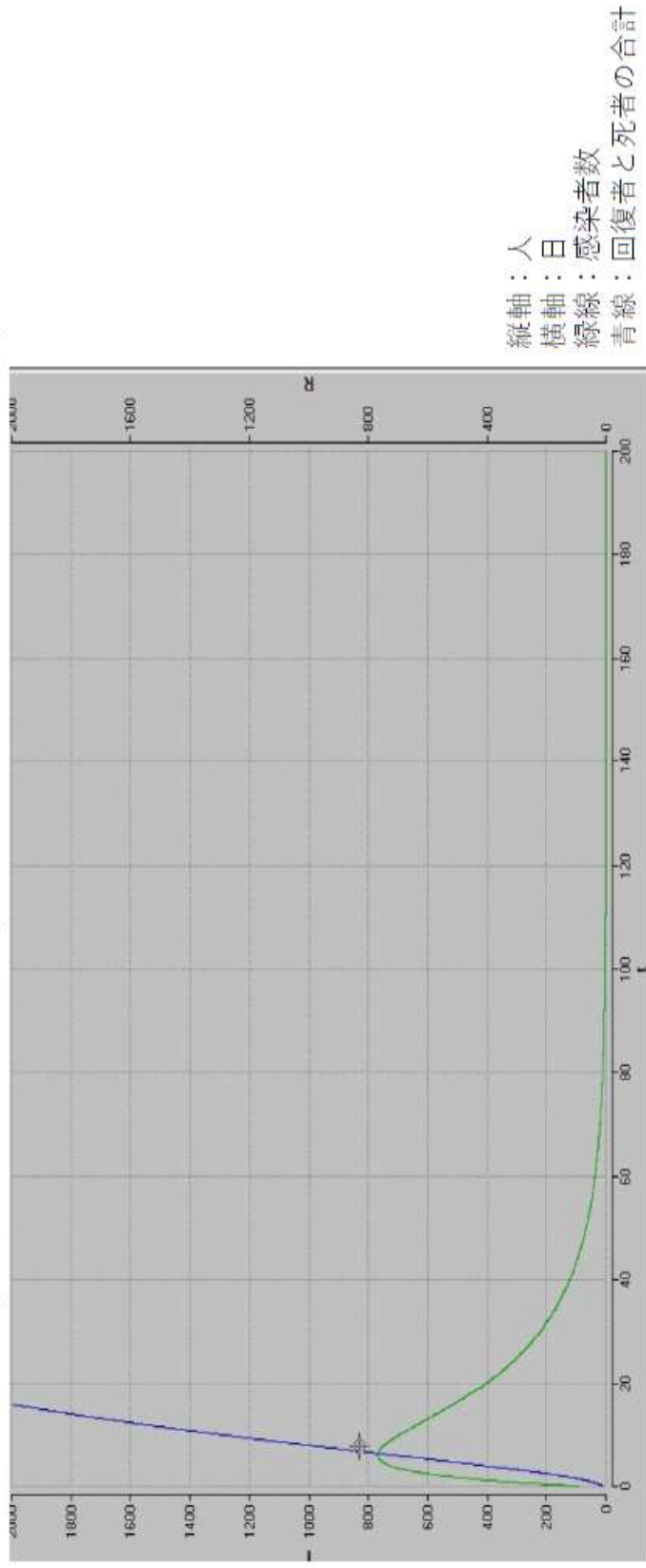
実効再生産数（灰）とその移動平均値（赤）

# 群馬県の現状が続いた場合



- 外出自粛やテレワークまた学校閉鎖等により，群馬県の実効再生産数は**1.3**程度を維持している。これは何も対策しない状態と比較して接触が約**50%**削減している状態に相当する。
- 現状が続いた場合，感染者数のピークは**28,000**人，重篤患者数を**5%**と見積もるとピーク時で**1,400**人になる。<sup>3</sup>

# 現状より接触を60%削減



- 外出自粛やテレワーク等で、接触をさらに**60%減らす**と、再生産数は**0.5**になる。これは何も対策を行わない場合の**80%削減**（緊急事態宣言）に相当する。
- 群馬県の感染者数のピークは**800人**弱まで減少する。重症者割合を**5%**とするとピーク時でも**40人**になり、医療機関の病床の確保が容易になる。<sup>6</sup>